

「大崎中学校の神舞伝承活動の取組」

1 学校名

大崎町立大崎中学校

2 学年・人数

中学1年生（計12人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和2年10月6日～29日 総合的な学習の時間（本校会議室，武道館）

令和2年10月28日（水） 発表会リハーサル（本校体育館）

(2) 発表の日時・場所

令和2年10月30日（金） 大崎中学校文化祭（本校体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

神舞（かんまい） 都萬神社奉納芸能

(2) 由来

大崎町の都萬神社には悪い神を追い払い五穀豊穰を祈念する神舞が伝わっていたが、戦争により1940年頃から途絶えていた。しかし、神舞が歴史にあったことを知った大崎伝統芸能保存会が地域興しのため、神社関係や大崎商工会青年部に呼びかけ、同町野方の照日神社に伝わり作成された神舞解説書等を手掛かりにして、神社関係者や郷土史家とともに約70年ぶりに復活させ、2010（平成22）年の都萬神社例大祭で奉納された。

(3) 構成等

戦前は神舞19段が伝わっていた。現在までに大崎町伝統芸能神舞保存会によって多くの舞（段）が復活している。田畑を荒らす悪い生き物を弓で征服して田畑の平穏を守る「弓舞」や五穀豊穰と子孫繁栄を祈念・感謝する「杵舞」，そして、今回本校で取り組んだ「四人鬼人舞（よったいきじんまい）」などがある。「四人鬼人舞」は、青・白・赤・黒の衣に身を包んだ東西南北の4人の鬼人の勇ましい舞である。

5 保存会や地域との連携の具体

復活当初は大崎商工会青年部が中心となり神舞が奉納されていたが、現在では大崎町伝統芸能神舞保存会として小中学生から高齢者まで一緒になり、神舞を繋いでいる。

本校は、総合的な学習の時間の1年生テーマを「郷土」としており、創立当時（平成26年）から郷土文化として「神舞」について調べ、大崎町伝統芸能神舞保存会の方々の協力のもと神舞の練習を行っている。舞だけではなく、笛・太鼓・鐘を使った囃子や口上等も学習し、本校文化祭において「四人鬼人舞」を披露している。

練習に神舞保存会の方々が来て指導してくださる他、本番では実際の神舞に使用する面や服，道具等もお借りするなど全面的に支援をいただいている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

大崎町の環境，文化・歴史，産業を学ぶために総合的な学習の時間にテーマ学習として「大崎学」を教育課程に位置付けており，大崎町役場や地元企業の方々に講師として御協力いただいて郷土について理解を深めている。

文化・歴史については，都萬神社の歴史の他，郷土の方々の強い想いで復活した「神舞」についても都萬神社の方に直接話を聞いたり，大崎町役場に勤める大崎町伝統芸能神舞保存会の方々に来校していただいて「神舞」の練習を行ったりすることで中学1年生が継続的に「神舞」について学習を行い，郷土の伝統芸能継承に貢献している。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



神舞保存会の方々からの指導



文化祭前のリハーサル風景



文化祭での発表の様子（1）



文化祭での発表の様子（2）

8 参加児童生徒・保存会・教職員等の感想

【1年生生徒】

- ・ 今回の学習を通して，大崎町に神舞という伝統芸能があることを初めて知りました。今度，都萬神社の神舞を実際に見に行ってみたいと思いました。
- ・ 僕は都萬神社の神舞奉納に参加したことがあります。今回，文化祭で神舞を舞うことで多くの人に知ってもらえるので良かったと思います。

【教職員】

- ・ 毎回，神舞保存会の方々に御協力いただき有難いと思う。1年生の神舞の披露は，本校の伝統となってきた。神舞の継承に今後も貢献していきたい。
- ・ 校区内に地域の人が復活させた伝統芸能があることは素晴らしいと思う。今後も「大崎学」の中で取り上げていきたい。

【保存会】

- ・ 今年度は新型コロナウイルス感染症のために，都萬神社の神舞奉納が中止となった。地域の学校で神舞をつないでくれることに感謝したい。